

2025 年 6 月 30 日

活動報告書（4 月～6 月）

プロジェクト名： 150周年アプリ～次世代への種まきプロジェクト～

作成者：坂東大誠

1. 4月～6月の目標

- ・新たなメンバーの勧誘・会議
- ・アプリの新機能の考案
- ・同志社香里中学・高等学校でのワークショップの開催(アプリの説明会・新たな事業考案)

2. 活動内容とその成果

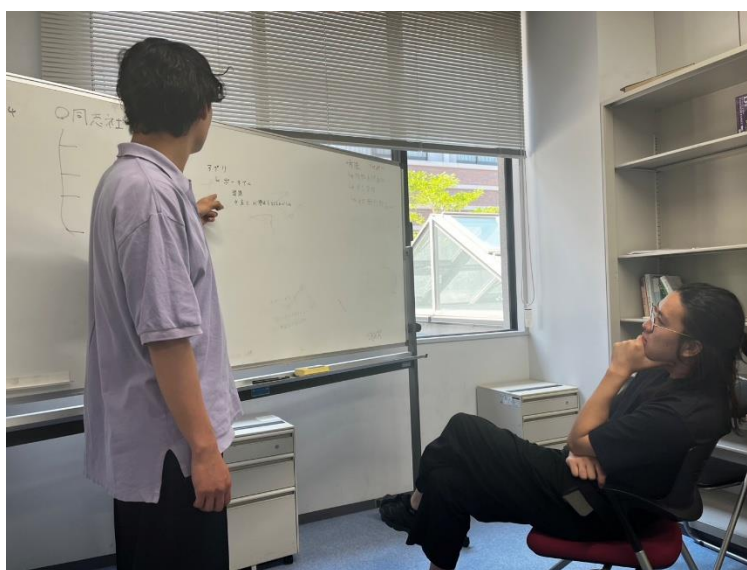
＊イベント別、チーム別、月別などカテゴリごとに分かりやすく分け、自由に記述してください。画像添付可。

・新たなメンバーの勧誘・会議

木村海斗、坂東大誠以外のメンバーを追加し、新たにチーム(会計担当、ウェブページ制作担当、企画担当)を組織し、それぞれの役割を明確にした。また、メンバーと複数回にわたり、定期的にミーティングを行い、企画を固めている。

・アプリの新機能の考案

メンバーと会議している中で、アプリの機能を拡充することも大切であるが、アプリをハブ的な役割で活用することを考案した。具体的な内容としては、同志社大学の生徒や教授にインタビューを行ったり、アンケートを行うことで、同志社大学のリアルな姿・声を外部に知らせることを目標とする。



会議の様子

・同志社香里中学・高等学校でのワークショップの開催(アプリの説明会・新たな事業考案)

6月中旬に同志社香里中学・高等学校にてワークショップを開催し、中高生にアプリのフィードバックを行った。また、その後、実際に同志社大学のどんなことを知りたいか、どんなことが気になるかの聞き取りをした。ワークショップの中では、「大学の二つのキャンパスの違い」や「大学でのやらかしエピソード」などを知りたいという声が上がった。



ワークショップでの様子(左:大学生、右:参加してくれた中高生)

2. 今後の活動予定

実際にワークショップで集めた意見を実行していく。最初に同志社大学の学長にインタビューを行っていくことで、このプロジェクトの価値を高めるとともに、信用度を高めることを目標とする。また、大学の生徒にもインタビュー・アンケートを行い、ウェブサイトに掲載して、そのサイトをアプリに紐づけすることにより、アプリの存在価値をも高めていく。